

広報

心の通う福祉のまちづくり



さつま町 ふくくし

No.30

平成26年7月発行

発行・編集

社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会
さつま町宮之城屋地2117-1 (宮之城ひまわり館内)

TEL 0996-52-1123
FAX 0996-52-1148



柁野地区での支え合いマップ作成のようす

目次

表紙	(写真) 柁野地区での支え合いマップ作成のようす
2P	・理事・評議員の交代、日本赤十字社資へのご協力のお礼、社会福祉協議会会費納入のご協力をお願い
3P	・平成25年度社会福祉法人さつま町社会福祉協議会決算報告
4P	・暮らし安心・地域支え合い推進事業進捗状況報告
5P	・ボランティア活動状況 (さつま町青年団)
6P	・ボランティア活動保険広告
7P	・香典返し、篤志寄付、備品借用の紹介
8P	・いぬまき荘の紹介、編集後記

【役員交代の紹介】

敬称略・順不同

平成二十六年五月三十一日の任期満了をもって、理事会で評議員、評議員会で理事・監事の改選がありました。理事の互選により、会長、副会長が選任されました。

新役員の任期は、平成二十六年六月一日から、平成二十八年五月三十一日までです。

【新役員の紹介】

《会長》

上 園 一 行 (再任)

《副会長》

平 一 行 (新任)

《理事》

上 園 一 行 (再任)

長 濱 良 博 (再任)

下 迫 次 男 (再任)

大 山 豊 (新任)

西 之 園 智 保 (新任)

平 一 行 (再任)

王 子 野 建 男 (再任)

木 原 実 久 (再任)

二 階 堂 清 一 (新任)

山 下 光 男 (再任)

《監事》

日 高 昭 治 (再任)

佛 淵 澄 男 (再任)

《評議員》

吉 井 達 也 (再任)

中 山 敬 志 (再任)

山 口 満 廣 (再任)

遠 矢 徳 博 (再任)

河 野 武 雄 (再任)

上 別 府 裕 人 (新任)

柿 添 信 義 (再任)

平 尾 秀 夫 (再任)

内 堀 茂 子 (再任)

蕨 野 紀 子 (再任)

末 永 忍 (新任)

四 位 芳 彦 (再任)

谷 山 章 子 (新任)

川 瀬 逸 雄 (再任)

小 島 英 彦 (再任)

中 村 金 次 郎 (再任)

相 良 久 治 (再任)

永 田 光 一 (新任)

神 園 和 昭 (再任)

中 園 和 夫 (再任)

門 前 裕 夫 (再任)

【旧役員の退任】

《副会長》

三 腰 佑 昭

《理事》

鈴木 博 之

山 之 口 カイ子

有 村 正 剛

《評議員》

原 敬 藏

波 東 寛 美

小 緑 絹 代

山 之 口 博 志

新役員として、再任、新任された役員の方々、任期の期間中、どうぞよろしく願いいたします。

旧役員の方々には任期の期間中、大変お世話になりました。今後とも、さつま町社会福祉協議会の活動に、ご理解とご支援のほどよろしくお願いいたします。

【日本赤十字社社資への ご協力のお礼】

五月を赤十字運動月間として、日本赤十字社社資の、ご協力をお願いしておりましたが、六月三十日現在三百七十一万三千円のご協力をいただきました。

ご協力ありがとうございました。集まった赤十字社資は、災害時の救援物資等の支援活動、献血事業、海外協力事業等に広く役立てられます。



【さつま町社会福祉協議会 会費へのご協力をお願い】

さつま町社会福祉協議会の会費納入にご協力をお願いします。さつま町社会福祉協議会の会費は、地区社会福祉協議会(校区)活動助成を始め、地域福祉推進の為の活動費として役立てております。

平成25年度 社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会 決算書

(単位：円)

勘定科目（大区分）		一般会計	収益事業 特別会計	旅客運送事業 特別会計	合 計
収 入	会費収入	4,830,300	0	0	4,830,300
	寄付金収入	3,563,524	0	0	3,563,524
	経常経費補助金収入	32,734,775	0	0	32,734,775
	助成金収入	75,000	0	0	75,000
	受託金収入	55,843,170	0	0	55,843,170
	事業収入	43,621,316	2,535,260	2,296,400	48,452,976
	貸付事業等収入	1,401,000	0	0	1,401,000
	共同募金配分金収入	3,567,700	0	0	3,567,700
	介護事業収入	105,037,072	0	0	105,037,072
	雑収入	7,727,375	0	0	7,727,375
	受取利息配当金収入	20,409	751	727	21,887
	会計単位間繰入金収入	1,080,000	0	0	1,080,000
	経理区分間繰入金収入	0	0	0	0
	経常活動収入計	259,501,641	2,536,011	2,297,127	264,334,779
	施設整備等収入計	0	0	0	0
	積立預金取崩収入	480,000	0	0	480,000
	その他の収入	21,501,660	0	0	21,501,660
	財務活動等収入計	21,981,660	0	0	21,981,660
	収 入 合 計	281,483,301	2,536,011	2,297,127	286,316,439
支 出	人件費支出	200,441,758	0	300,000	200,741,758
	事務費支出	17,058,262	32,450	73,400	17,164,112
	事業費支出	49,364,794	96,600	1,420,018	50,881,412
	貸付事業等支出	1,478,000	0	0	1,478,000
	助成金支出	6,242,750	0	0	6,242,750
	負担金支出	50,000	0	0	50,000
	会計単位間繰入金支出	0	580,000	500,000	1,080,000
	経理区分間繰入金支出	0	0	0	0
	売上原価	0	2,209,294	0	2,209,294
	経常活動支出計	274,635,564	2,918,344	2,293,418	279,847,326
	固定資産取得支出及び繰入支出	0	0	0	0
	施設整備等支出計	0	0	0	0
	積立預金積立支出	1,101,474	0	0	1,101,474
	その他の支出	6,633,480	0	0	6,633,480
財務活動等支出計	7,734,954	0	0	7,734,954	
予 備 費	0	0	0	0	
支 出 合 計	282,370,518	2,918,344	2,293,418	287,582,280	
当期資金収支差額合計	-887,217	-382,333	3,709	-1,265,841	
前期末支払資金残高	42,075,176	5,475,134	4,241,755	51,792,065	
当期末支払資金残高	41,187,959	5,092,801	4,245,464	50,526,224	

暮らし安心・地域支え合い推進事業



昨年八月から始まった暮らし安心・地域支え合い推進事業ですが、平成二十五年度は紫尾地区の紫尾上・紫尾中・紫尾下の三公民会で支え合いマップづくり等を行いました。その際に出してきた反省点や好事例などを活かしながら、平成二十六年度は十箇所での支え合いマップづくりを目標とし、取り組みが始まっています。

今年度の取り組みにいち早く手を挙げていただいた柗野地区（柗野上向江・柗野中間下公民会）・佐志地区

区（さくら公民会）で、六月より早速ご近所福祉座談会が開催されました。

柗野地区（柗野上向江・柗野中間下公民会）



柗野地区では平成二十六年六月十三日（金）に第一回ご近所福祉座談会が開催され、柗野上向江公民会周辺の支え合いマップづくりを行い、住民同士のふれあい等を矢印の線で記入していききました。

同月十八日（水）に第二回として柗野中間下公民会周辺の支え合いマップづくりを同様に行いました。柗野地区は地区全体で命のカプセル（緊急時医療情報キット）を導入しているなど、特に一人暮らし高齢者への見守りに力を入れている地域であることもあり、座談会では積極的に発言されていました。

佐志地区（さくら公民会）



佐志地区ではさくら公民会の支え合いマップづくりとして、同年六月十六日（月）に第一回ご近所福祉座談会が開催されました。さくら公民会は高齢化率の比較的低い地域ではありますが、空き家が多いなどの課題もあります。民生委員さんが支え合いマップづくりに熱心に取り組んでくださり、会場もご提供いただきました。座談会では『世話焼きさん』と色々な方が線でつながり、この人に話を聞けばこの地域は大体のことが分かるという、住民同士の関係性が見えてきました。

八月には柏原地区の上川口公民会のご近所福祉座談会が計画されています。支え合いマップづくりを通じて、地域住民が中心となり、それぞれの地域の特性に合った課題の対応策を考えていくこととなります。

☆今後の展開に

どうぞ期待です☆



ボランティア活動状況

さつま町クリーン大作戦

平成二十六年五月二十五日(日) さつま町青年団団員十三人が二渡地区及び神子地区に分かれてゴミ拾い活動を行いました。

日頃の生活の中で町を歩くことが少ないため「ここに公園がある。」「こんな道があったのか。」と新たな発見もありました。

また、ゴミ拾いを行い、思った以上にゴミが少ないと驚きを感じ、これは地域・自治会での清掃活動の成果だと感じました。これからも、私たちの住むさつま町がきれいな町であり続けてほしいです。

さつま町青年団は、福島英之団長をはじめ、団員三十名で活動しています。団員は随時募集中です。



福島 英之 団長

平成二十三年三月に、当初六人でスタートした青年団活動ですが、現在は団員も三十人に増えました。地域の元気な若者の受け皿として、楽しみを持って、無理なく、自分達のペースで活動しています。

青年団へ入るハードルを低くすることで、さつま町に溶け込んで行きやすくなるような組織にしたいです。そして、子供たちやお年寄りの、元気づけが出来るような活動をして行きたいです。

青年団のメンバーは、それぞれ職場も違い、多種多様なメンバーで、月に一回の定例会を行っています。たまには懇親会で、コミュニケーションを深めています。

今年、若者向けのイベントを計画中です。あなたも青年団で、一緒に楽しみませんか。福島連絡先

〇八〇―一七〇五―一六六四九



鹿児島県青年大会での町民音頭の披露



ほたるの里ジョギング大会出場

平成26年度

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

全国200万人加入!!

ボランティア活動保険

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償



対象となるボランティア活動

- ◆グループの会則に則り企画、立案された活動であること
(グループが社会福祉協議会に登録されていることが必要です。)
 - ◆社会福祉協議会に届け出た活動であること
 - ◆社会福祉協議会に委嘱された活動であること
- ※活動のための学習会または会議などを含みます。
※自宅などとボランティア活動を行う場所との通常の経路による往復途上を含みます。

保険金をお支払いする主な例

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをした。(ケガの補償)
- 活動に向かう途中、交通事故にあった。(ケガの補償)
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になった。(ケガの補償)
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花瓶を落としてこわした。(賠償責任の補償)
- 自転車でボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。(賠償責任の補償)

補償金額(保険金額)・保険料

		Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,200万円	1,800万円	
	後遺障害保険金	1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円	
賠償責任の補償	賠償責任保険金	5億円 (限度額)	5億円 (限度額)	
	年間保険料	基本タイプ	300円	450円
天災タイプ*		460円	690円	

*天災タイプでは、天災(地震・噴火・津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

- 行事参加者(主催者(個人)を含みます。)全員のケガを補償(往復途上も含みます。)
- 行事主催者の損害賠償責任も補償

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

- 送迎・移送サービス利用者を選定したAプラン
- 送迎・移送サービスのための自動車を選定したBプラン

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

- 在宅福祉サービス
- 障害福祉サービス
- (公的介護保険対象外)
- 児童福祉サービス
- サービスを含みます。
- 障害者地域生活支援事業 など
- 地域福祉サービス

● お申込み、詳しい内容のお問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

(引受幹事保険会社) 日本興亜損害保険株式会社
TEL:03(3593)6245

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

皆様の善意に
感謝申し上げます

社会福祉協議会では、皆様方より頂きました寄付を、地域福祉の向上のために活用させていただいております。

(平成二十六年四月一日)
平成二十六年六月三十日受付分

香典返し寄付 五十三件
五十五万五千元

寄付者名(故人名)《敬称略》
(町内は大字、町外は住所地)

前原 勝男(故)	前原 トミ	宮城屋地
山下 幸子(故)	山下 澄	船木
山下アキエ(故)	山下 林	虎居
西園マチ子(故)	西園 嵩	宮城屋地
吉留ミツエ(故)	吉留 茂則	柏原
飯屋 秀樹(故)	飯屋 ウメ	佐志
神馬場久子(故)	神馬場道徳	中津川
森永 秀子(故)	山下サツ子	摩川内市
貝崎 博子(故)	貝崎 俊彦	船木
内山 正一(故)	内山 正徳	鹿児島市
井上 幸子(故)	井上 幸一	宮城屋地
森園 利隆(故)	森園 明美	久富木
木村 和光(故)	木村イク子	宮城屋地
川内 純男(故)	川内 フチ	大阪府
西之園洋三(故)	西之園ミツエ	佐志
宇宿アツ子(故)	宇宿 五雄	鶴田
小椎八重廣樹(故)	小椎八重秀男	宮城屋地
宮脇 幸藏(故)	宮脇 ヒデ	求名

森 博昭(故)	森 一枝	宮城屋地
脇 ハルエ(故)	脇 權一	求名
長迫 文江(故)	長迫 邦敏	佐志
溝下セツ子(故)	溝下 透	平川
満留 民雄(故)	満留伊津子	久富木
山本 繁(故)	山本 イク	大阪府
山下 秀樹(故)	山下 ミキ	中津川
中園 信子(故)	中園 辰郎	求名
大田 エミ(故)	大田 弘	鶴田
大江キミ子(故)	生駒 千歳	大阪府
今村 作男(故)	今村由美子	時吉
北野 修一(故)	北野 昌代	宮城屋地
河内 和代(故)	河内 寛	柏原
八田 靖裕(故)	八田 サチ	埼玉県
下園 クミ(故)	下園 正美	虎居
新屋敷勝美(故)	新屋敷シツエ	求名
山口 満廣(故)	山口 エイ	山崎
淵脇 利行(故)	淵脇スミ子	求名
吉田 勝(故)	吉田ムツ子	宮城屋地
中王子真一(故)	中王子ユキ	紫尾
木場 三生(故)	木場 満雄	愛知県
牧田 式部(故)	牧田 正道	鶴田
井上 悟(故)	井上 近	紫尾
天瀬 弘子(故)	中間 莊次	長崎県
原 克信(故)	原 シノブ	久富木
川畑 隆二(故)	川畑 トシ	船木
植園 洋子(故)	今西 瀧男	虎居
林 フミ(故)	林 一夫	時吉
大平 誠(故)	大平 次	虎居
米盛 春子(故)	米盛 一郎	白男川
福留美智代(故)	福留 義和	柏原
福留美智代(故)	福留 義盛	柏原
松元リョウ子(故)	松元 隆	山崎
宮之脇 維(故)	宮之脇正雄	紫尾

篤志寄付
二万八千七百八十八円 七件

寄付者名《敬称略》

- ・大庭 正信
- ・紫尾区大衆浴場 上之原 純夫
- ・さつま町母子寡婦福祉会
- ・谷山 光男

匿名希望 一件

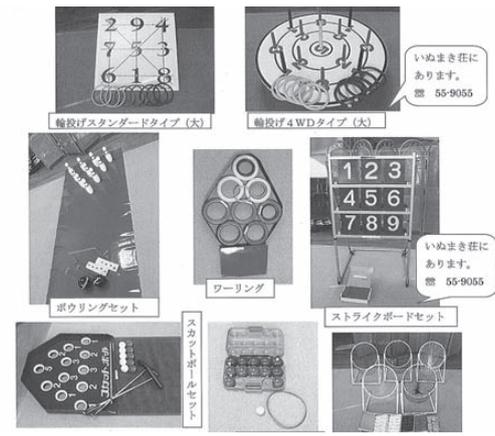
【備品をご利用ください】

(車椅子・レクレーション用具・高齢者擬似体験セット等)

さつま町社会福祉協議会では、さつま町内在住の方を対象に、車椅子や、レクレーション用具の貸し出しをしております。

レクレーション用具は、無料で貸し出ししておりますが、車椅子は一ヶ月間だけ無料です。お気軽に社会福祉協議会事務局にお問い合わせください。

また、高齢者擬似体験セットの準備もありますので、福祉教育等にもご利用ください。



レクレーション用具



【老人福祉センター】 いぬまき荘

どなたでもご利用出来ます。



お茶も準備してあります



かけ流しの温泉 いい湯です



健康教室：運動会のような



健康教室：忘年会のような

【料金表】（入浴料込み）

さつま町内の65歳以上の方	(1日休憩) 150円
	(入浴のみ) 100円
さつま町内の65歳未満の方	(1日休憩) 200円
	(入浴のみ) 200円
さつま町外の方	(1日休憩) 360円

- ・利用時間：午前9時～午後4時30分
(ただし、入浴時間は午後4時まで)
- ・休館日：日曜日・祝祭日・年末年始
- ・弁当・飲み物は、持ち込み出来ます。

【お問い合わせ先】 老人福祉センター いぬまき荘 電話 55-9055 (平成26年7月1日現在)

編集後記

いつの間にか半袖シャツになり、汗ばむ季節となりました。田植えもひと段落といったところでしようが、皆様、体調など崩していらっしゃいませんか。夏バテしないようにスタミナをつけて、暑い夏を乗り越えましょう。

さて、今回、広報誌第三十号を発行いたしました。発行にご協力くださいました方々に感謝申し上げます。

地域に開かれた社会福祉協議会として、地域福祉の増進に取り組んでまいりますので、ご意見をお聞かせください。

今後とも、町民の皆様のご協力を、よろしくお願いいたします。

広報委員

- 山下 光男
角井 修
柳田 道輝
松下 正人
桑波田 敏光
甫立三三子